

2013年5月16日

各位

DAIKYO 大京グループ

「ライオンズリビングラボ」業界の先導的な取り組み 「ライオンズマンション」の共用部向けの商品開発を深化 新商品「ココチポーチ」「Lions COZY SPACE」を発表

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口陽）において活動中の、お客さまと一緒にモノづくりを行う取り組み、「Lions Living Labo（ライオンズリビングラボ）」では、エルズキッチンをはじめ、マンション専有部内の設備仕様や収納、空間提案において、実際に使う方の目線で、従来の当たり前仕様をイチから見直し、お客さまの本当に求めているものを研究開発する取り組みを行ってまいりましたが、このたびマンション共有部の商品開発を更に深化させた新商品「ココチポーチ」と「ライオンズコージースペース」を発表し、8月発売予定の「ライオンズ豊見城セントマークス」（沖縄豊見城市）で初採用することとしましたので、お知らせいたします。

「ココチポーチ」

玄関周りが楽しく飾れて、すっきり置ける、ここ家（ち）ポーチ

マンションの玄関前も「戸建て住宅と同じように我が家らしさを演出したい」というお客さまの声から、楽しく飾れて、利便性も向上させた玄関空間の提案を「ウェルカムエントランス」として具現化して参りましたが、ライオンズリビングラボが定期的に行っている入居者アンケート調査や、大京アステージの管理物件の実態調査の結果、「生協」の空き箱や宅配飲料水の空き容器、ベビーカーなどを一時的に「置く」場所が欲しい、もっと玄関前の空間を有効に使いたいと思っている方が多いことから「ココチポーチ」を企画いたしました。

さらに、企画中の案に対してもご意見を伺うため行った、リビングラボ座談会（2013年1月実施）では、スケッチや製作中のサンプルを見ながら、「通路から丸見えにならないように品良く置きたい」「荷物を持っている時にもスムーズに出入りしたい」などの声をいただき、利便性の向上だけでなく、共用部分となるため居住後の住人同士の関わりやメンテナンス等についても、「心地良いポーチ」となるように配慮し、グループの管理会社である大京アステージの協力により商品化。きれいに置く、すっきり置く仕組みを構築しました。



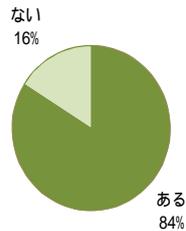
ココチポーチ イメージ
参考イラストについては、実際のものとは多少異なります。

ココチポーチ

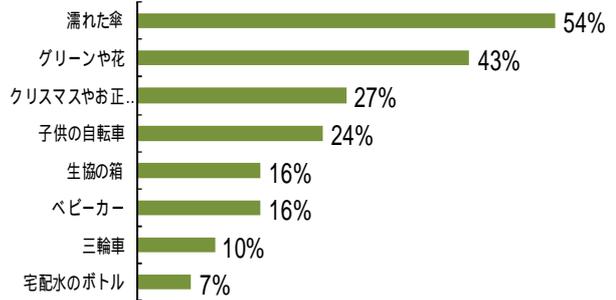
置いているものは隠せて光や風は通すセミオープンブラ
ちょっと飾れるカウンター(カウンターの下は生協の箱を置いても良いスペース)
照明スタンドも飾れるコンセント付き

傘掛けバー
カスタム・アイ・パネル
カスタムフック
カラーデザインセレクト(一部壁、床)

Q. 玄関ポーチがある場合、置きたいものがありますか？



Q. 玄関ポーチに置きたいものは何ですか？



2012年12月実施リビングラボ調査 n:1525

「Lions COZY SPACE」ライオンズコージースペース

居住者同士のグッドコミュニケーションを創出するさまざまな共用空間の居心地をデザインしました。

マンションの共用部は、「入居者同士、雰囲気が悪くならないように、気持ちよく暮らしたい」という気持ちが優先する場所であり、専有部と比較すると、「あまり使わない、愛着が少ない」「ちょっと使いづらいところがあっても我慢する、仕方がないと諦めている」等の、入居者アンケート調査やモニター座談会で得たお客さまの声をもとに、共用部の理想の居心地を考えました。

例えば、「ライオンズ豊見城セントマークス」では、帰宅時に必ず立ち止まる場所、「メールコーナーで郵便を受け取る時間」「エレベーターを待つ時間」などに、一時的に荷物が置けたり、腰が掛けられるベンチを配置、また、各階エレベーターホールの壁には、当該物件の周辺、豊見城市内にある漫湖公園で観測することができる野鳥をモチーフとしたフロア表示を設置するなど、見た目のデザインや、管理しやすい仕様ということだけではなく、毎日通る場所のさまざまなシーンにおいて、自然に入居者間でコミュニケーションが生まれるような空間づくりを目指しました。

災害時などのいざというときには、入居者同士で助け合える関係性を普段から自然につくれる環境を提供することも、住まいを提供する側の使命であると捉え、「ココチポーチ」や「Lions COZY SPACE」は今後も建物の立地や規模等の特性に応じて、導入内容を検討、提供アイテムの数を増やしていく予定です。

「Lions COZY SPACEの例」



集合エントランス
～開錠する時間も心地よく
ハンズフリーな帰宅。
お客様はカウンターに荷物を一時置きできます。



メールコーナー
～郵便を受取る時間も心地よく
「カウンターでDMなどの仕分けができます」



エレベータホール
～待ち時間も心地よく
ベンチに腰を掛けたり、荷物を一時置きできます



各階ホール
～玄関までの通路も心地よく
フロア毎のシンボルは楽しい我が家の目印

Lions COZY SPACE イメージ
参考イラストについては、実際のものとは多少異なります。

ライオンズ リビング ラボとは

Lions
Living
Labo

「Lions Living Labo (ライオンズ リビング ラボ)」

お客さまの視点でモノづくりをする取り組みとして、ライフスタイルや世代の異なるさまざまな方と意見を交わし、声を集め、家族一人ひとりの「家時間」をより快適に、楽しい時間になることをテーマに、生活提案型の商品開発を行っております。

現在までに約 50 点のオリジナル設備や収納、ライフスタイルプランを開発し、全国のライオンズマンションに採用しています。

ライオンズ リビング ラボ 共有部の商品開発への取り組み

「Lions Living Labo (ライオンズ リビング ラボ)」では、2011 年 9 月に「ウェルカムエントランス」のリリースを皮切りに、専有部だけではなく共用部の商品開発にも取り組んでおり、従来、管理規約によって「できない」が一般的だった規則を見直し、画一的だった共用部にも我が家らしい演出ができる玄関パネル「カスタム・アイ・パネル」などの開発を行ってまいりました。

ご入居者からは、「親子で季節毎に飾りを楽しんでいる」「帰宅時に和む」「マンション全体で美観を保っている感じがある」「飾りを通してご近所の方と話をするきっかけになる」などのお声をいただき、居住者同士や訪れる人とのコミュニティ形成の一助にもなっていることが分かりました。

また、戸建住宅にはできて集合住宅にはできないことがあってよいのか、どちらも同じ「住まい」現代の多様なライフスタイルニーズに対して、集合住宅の課題は「個性を表現する選択肢が少ないのではないか」と捉えています。集合住宅か戸建住宅かという枠を飛び越えた発想で住まう人の気持ちを豊かにする住環境の向上を考え提案し続けていきます。

WELCOME
Entrance
ウェルカム エントランス



「カスタム・アイ・パネル」使用例



CUSTOM PANEL
カスタム・アイ・パネル

買い物袋を上げられるので
楽に鍵を取り出せます。



季節のリースが飾れる
「カスタムフック」

【ウェルカム エントランスの新商品 「カスタム・i・パネル」誕生】

<http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20110908.pdf>

ライオンズ豊見城セントマークス 物件概要

所 在：沖縄県豊見城市以下未定(住居表示)
交 通：市外線「平和台団地入口」バス停より徒歩1分
用途地域：近隣商業地域、第一種中高層住居地域、第一種低層住居専用地域
規模・構造：鉄筋コンクリート造、地上13階建て、共同住宅
総戸数：68戸(住戸)
販売戸数：未定
敷地面積：2739.06m²
専有床面積：67.49m²～87.18m²
間取り：3LDK～4LDK
竣工日：平成26年6月10日(予定)
入居開始日：平成26年6月20日(予定)
販売予定時期：平成25年8月上旬
施 工：株式会社大城組
設 計：株式会社フェイス
売 主：株式会社 大京

・詳しくは物件ホームページをご覧ください。<http://lions-mansion.jp/ML121001/>

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
株式会社大京 広報室(今福・河守) TEL:03-3475-3802